

須賀川市立小中一貫教育校「稲田学園」令和2年度学園だより

とう 雲 稲 雲

令和2年5月19日発行

発行者：校長 小貫 崇明

第4号



○臨時休業が終了！**学校を再開**しました！

国の非常事態宣言が解除されたことを受け、市教育委員会の指示により市内の小中学校は、5月18日（月）より、段階的に教育活動を再開することになりました。

昨年度末の3月から臨時休業が始まり、今年度4月の2日間だけの授業日を最後に、臨時休業が続きました。何度かの登校日はあったものの、自宅での自主的な学習を強いられ、友だちとの楽しい集団生活や部活動などを我慢してきた子どもたちにとって、待ちに待った学校再開となりました。教職員にとっても本当にうれしい学校再開です。



（写真：学校再開初日の登校時の様子・・・自転車もソーシャルディスタンスを守ってますね）

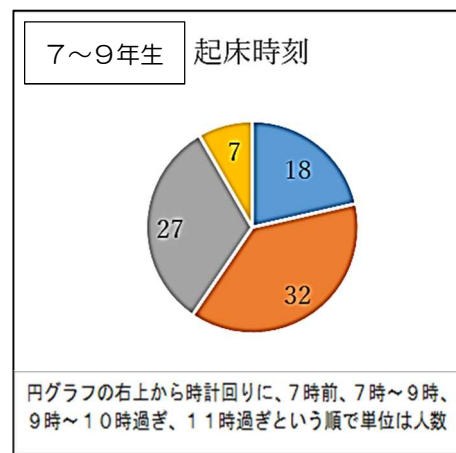
学校といたしましては、通常の学校生活に戻していくために、また、いわゆる「3密」状態を引き起こさない生活様式徹底のため、若干時間をかける必要があると考えます。6月には完全に実施できるよう計画的に授業や活動を本格化していきますので、保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

【**長かった臨時休業の心や体への影響は？**】

5月8日（金）の登校日の際に実施した「心と体の健康調査」の結果から、臨時休業の子どもたちへの大きな影響が明らかになりました。例えば・・・

- ◎ 1年生から6年生では、コロナウイルスに対して「すごく怖い」と回答した児童が64%、イライラする気持ちについては、「少しあった、時々あった」児童が8%いました。
- ◎ 7年生から9年生でも、コロナウイルスに対して「すごく怖い」と回答した生徒が24%に達しています。また、起床時間では、40%を超える生徒が午前9時以降に起きていたという結果が出ました。（右のグラフは、調査した中学生84名中、9時以降に起床した生徒が27+7=34名いたことを示しています。）

このように、長かった臨時休業中の生活や心の乱れを解消していくため、個別の教育相談やスクールカウンセラーによるカウンセリング等も実施していこうと考えています。ご家庭で、お子様の生活や心の状態に不安を感じている場合は、ぜひ学校にご相談下さい。



【大きな「第2波」を起こさないために】

学校再開に当たっては、以下のような感染防止対策の徹底を図ってまいります。

- ① 毎朝の検温と健康観察（発熱等の症状や体調が悪い場合は登校させないでください）
- ② マスク着用、手の消毒、咳エチケット、こまめな手洗い
- ③ 校内のドアノブや手すり、机や棚、スイッチ等の定期的な消毒
- ④ 教室の換気（これから気温も上昇するので熱中症対策としても）
- ⑤ 「3密」にならないよう授業や活動場面での場の指導の徹底

※写真は、昇降口で手を丁寧に消毒する1年生→



ところで、「こまめな手洗い」と言われても、どんな場合での手洗いかが表示されていなかったと思います。右の図は、具体的な手洗いのタイミングが良く分かる図になっているので、参考にして下さい。

また、マスクやスマホの表面にもウイルスは付きます。マスクをはずした後、スマホを触った後なども、こまめに手洗いすることが大切です。



【地域の皆様より多くの支援をいただきました】

臨時休業中や今回の学校再開に際しまして、地域の皆様方より様々な物資をご提供いただきました。心から感謝申し上げます。

◎ 布製や不織布製のマスク

マスクを忘れたり汚してしまったりした場合に活用します

◎ 微酸性電解水

子どもたちの触れる机や手すり等の消毒に使用しています

←現在、日本ではアルコール消毒水や次亜塩素酸水が不足する事態が発生していますが、本校では、消毒に使用するスプレーボトルが不足していました。今回、学校再開に際し、先生方の家にあったものをかき集めて何とか数がそろいました。



★ことばのちから(4)

「苦しい時ほど人間性が出る」

人は、苦しい時、困った時、判断に迷った時、その時に、やっぱり人間性が出てしまうんですね。ついつい、言い訳をしたり、楽な道に逃げたり、責任転嫁してみたり…。私自身も、苦しくなると、弱い自分、甘い自分が出てきてしまいます。

今まさに全世界が「苦しい時」ですが、だからこそ、自分の人間性を高めるチャンスだと思うことが大切なのかもしれません。簡単なことではありませんが(>_<)